



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION
 OF Y'S MEN'S CLUBS
 CHARTERED 1979

C/O Tochigi YMCA
 2-7-42 Matsubara
 Utsunomiya 320-041
 JAPAN

THE Y'S MEN'S CLUB OF UTSUNOMIYA

2020年7月1日
 第502号

2010～2021 主題

国際会長 IP: Jacob Kristensen (デンマーク)
 “TRUST IN THE RIVER OF LIFE” 「命の川を信じよう」
 アジア太平洋地域会長 AP: David Lua (シンガポール)
 “Make a difference” 「変化をもたらそう」
 東日本区理事 板村哲也 (東京武蔵野多摩) 「変化を！」
 北東部部長 南澤一右 (仙台青葉城)

会長	粕田	晴之
直前会長	本多	啓夫
副会長	渡辺	幸子
副会長	座間	裕二
会計	新井	一夫
書記	川村	由美子
ブリテン	中村	俊幸
担当主事	松本	法判

「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう」
 宇都宮クラブ会長 粕田晴之 「コロナ禍、子供たちを貧困から護る支援を！」
 宇都宮クラブホームページ <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~utsuys/ysmens/>
 宇都宮クラブ英文ホームページ <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~utsuys/yseng/>

宇都宮ワイズメンズクラブ7月報

粕田会長の2020～2021年度のスタート「キックオフ例会」です。3月から新型コロナの影響で会場に集まっていた例会を中止していましたが、7月例会から感染対策に留意しながら通常の例会を再開します。皆様、粕田会長の会長標語のもと、アフターコロナの宇都宮ワイズの活動を考えましょう。

＜7月キックオフ例会プログラム＞

日時：7月8日（水）午後6時30分～
 会場：イタヤホテル会議室
 例会費：メン5000円、メネット4000円
 受付：矢部 司会：柳田
 開会挨拶 粕田 会長
 スピーカー紹介 塩沢総主事
 子どもの貧困と学びの保障 中野 謙作さん
 栃木県若年者支援機構 代表理事
 会食-食事後、ワイズとしてYMCAと共にどのような応援ができるかを話し合う。
 2020-21年度方針とキックオフ 粕田 会長
 予算案審議 新井 会計
 個人アピール
 ハッピーバースデー&ドライブ
 YMCA ニュース 松本担当主事
 閉会挨拶
 コロナの影響で多くの課題がある地域や子どもたちへ、YMCAとワイズ、それだけでなく他団体との協働を通して支援しようとする全国のYMCAが、ポジティブネット募金を始めました。今回の例会は、一つの取り組み事例となるのでZoom配信して全国のワイズが見れるようにという意図で行われることになりました。

《6月第1例会報告》

日時：2020年6月9日（火）19:00時～
 Zoomでの例会を約2時間行いました。
 出席者：中沢、渡辺、上野、中村、座間、大久保、南部、矢部、安井、川村、新井、十河、松本、塩沢、佐藤、山田 以上16名
 メネット 中沢、矢部、佐藤、十河、山田 5名
 以上総勢21名が参加してZoom例会が開かれました。山田会長代理による挨拶と本多会長の元気な様子を報告。
 講演1. 渡辺幸子栃木県議会議員のスピーチ
 講演2. 中澤堅次医師（秋田県の老人保健施設長）のスピーチ
 今期（2019年7月から2020年6月まで）の報告。
 決算見込みと予算案について新井会計担当より報告。
 東日本区では、2020-21年度前期会費を徴収しない方針が決まり、当クラブでも前期は免除とする。通常の例会ができない可能性も高いので、シゲファンドも低い予算、TOF, CS, ASFなども状況を見て判断する予定。

6月例会		出席率	49%	BF	切手	震災支援	シゲドラ
在籍者	35名	広義会員	名	先月	kg		
例会出席	16名	メネット	5名	累計	kg		¥187,010
メイキャップ	1名	ゲスト	名	Y3	名		

2020-2021 年度の会長方針

会長主題：「コロナ禍、子供たちを貧困から護る支援を！」

宇都宮クラブ会長 粕田晴之

2008 年入会、2015-2016 年度会長、そしてこのたび 2 回目の会長を受けることになりました。仕事上の都合で、前回と同様に例会を水曜日に変更させて頂くことになり、ご迷惑をおかけしますが宜しくお願い致します。

「健康の社会的決定要因 (SDH : Social Determinants of Health)」これは、生まれ育った国・地域・家庭などにより教育水準や所得などに格差が生まれ、その人の健康に直接的な影響が及ぶことで、子どもの貧困、高齢者の一人暮らし、厳しい労働環境、LGBT といわれる性的マイノリティへの差別や偏見など、健康格差につながる社会的要因は、日本の至る所に存在しています。

医師が SDH の存在を知らないと、病気は患者さんの自己責任とされてしまうことがあります。たとえば、糖尿病の患者さんが食事制限を守らない、運動もしない、外来予約を守らない・・・これでは糖尿病が進行するのは当たり前。そうでしょうか？食事療法が守れないのは、経済的に苦しくて野菜や果物が買えず、安価に空腹を満たしているからかもしれません。勤務環境が厳しく、自宅で料理をしたり運動する時間がとれないのかもしれない。医師が正しい治療法を知っていても、患者さんが病院に来られなければ治療を続けることはできません。健康格差の社会的な要因である SDH の存在を知っていれば、その患者さんが治療を続けるために何が重要なかがわかり、本当の意味で患者さんを助けることにつながります。

認知症・うつ病・運動不足による各種疾患...。医療をめぐるさまざまな問題の最上流には近年深まる「社会的孤立」があります。従来の医療の枠組みでは対処が難しい問題に対し、薬ではなく「地域での人のつながり」をサポートする「社会的処方」。イギリスで導入された制度ですが、近年、日本各地でも取り組みが始まっています。

新型コロナウイルス感染の拡大・感染拡大予防対策・自粛生活等は、失業・貧困・健康障害・風評被害など様々な弊害をもたらしました。子供たちは日本の将来を担う大切な存在ですが、「子どもの貧困」は、コロナの影響で深刻さを増しています。

そこで、次のような新年度の方針を立てました。宜しくお願いします。

1. 「社会的処方」への協力

地域の資源を発掘あるいは見直して「地域での人のつながり」の拡大を図り、「社会的に孤立」し、助けを必要としている人たちを支援する。

2. 「子どもの貧困」に対する支援

コロナ禍で一段と厳しさを増した「貧困層の子供たち」の困難な状況を把握し、支援する。具体的には、「サンプロジェクト」を通じて、支援に取り組む。

3. 会員増強 (EMC) と出席率向上 (目標 70%)

従来の顔を合わせた例会に、WEB で参加できるシステムを併用し、会員増強と出席率向上を目指す。

新年度役員 左から渡辺副会長 座間副会長 川村書記 新井会計 本年度よろしくお祈りします。



◆ 2020-21 年度ワイズ宇都宮クラブの人事

会長 粕田晴之君
副会長 渡辺幸子さん
副会長 座間裕二君
書記 川村由美子さん
会計 新井一夫君
直前会長 山田公平君
ブリテン 中村俊幸君
監査 佐藤隆久君
担当主事 松本法判君
東日本区直前理事 大久保知宏君
会員増強委員 上野順一郎君、塚田典功君
地域奉仕、Yサ委員 柳田 孝君
国際交流委員 山田公平君
DBC 担当 佐藤隆久君

《6月第2例会報告》

6月第2例会 (Zoomで6月24日に役員会開催)

出席は、粕田、新井、大久保、塩沢、中村、松本、山田 7名

◆子どもサンサンプロジェクトについて

宇都宮には子供を多角的に支援するグループがあり、10以上の団体が上記プロジェクトに参加している。YMCAもその一つで、様々な課題がある家庭の子どもたちの居場所を提供している。ひばりクリニックは病児への支援活動を、フードバンクは子ども食堂への食糧提供をしている。塾に行けない子どもへの学習支援を行っている団体も入っている。コロナ危機で多くの子どもやその家族が孤立したり、経済的困難に陥ったりして、相対的貧困は拡大している。貧困による学力の格差も指摘されており、貧困連鎖が人生の社会チャンスにも強く関連していくと指摘されている。家庭の状況が良くない子ども、学校でも学びが進まない子ども、そんな子供たちに各地域で学習環境が整っている「学べる場」があればよい。宇都宮には、12%近くの相対的貧困がいると言われている。その数は、0歳から18歳までで1万人を超えている。そういう子どもたちに放課後や休みの日の居場所を提供し、学び、遊び、寄り添い、食事を保証する場をもっともっと作り出す必要がある。

この居場所となる場を見つけ、創り出すところでワイズが応援できるのではないか。ワイズメン個人の働きやつながりがそれを可能にし、その個人の働きに人的、金銭的に応援するようなシステムを作

る。これまでのワイズのようにみんなと一緒に何かをするだけでなく、目的のため個人レベルで動いていくことをもワイズの働きとして応援する、ワイズの活動とする。クラブをバックにしてワイズ個人が動くというシステムを生み出したい。そんな働きを、2020-21年度のワイズの方針とすることが話し合われた。

◆会員の動向

大谷紘三君は、健康回復までしばらく休会する。

服部 慧さんは、事情により退会する。

大井雄介君は、転勤のため後任がメンバーとなる。

福嶋晴彦君は、転勤のため後任がメンバーとなる。

◆宇都宮で開催予定の東日本区大会について

大久保君が次期東日本区理事となる。その年度の最後に行う東日本区大会は2022年6月4-5日に宇都宮で行われる。その大会実行委員会を宇都宮クラブが中心となって組織する。次回の第2例会で話し合うことになった。

《YMCA 便り》

【全国 YMCA】新型コロナウイルス影響下における青少年教育に関わる5団体による共同声明

- ・公益社団法人ガールスカウト日本連盟
- ・公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
- ・公益財団法人東京 YWCA
- ・公益財団法人日本 YMCA 同盟
- ・公益社団法人日本キャンプ協会

世界的ネットワークを持つ青少年教育に関わる5団体では、新型コロナウイルスの影響により、日本国内での青少年の健全な成長のための諸活動が失われている現状を危惧し、共同声明として発表することとしました。

1.新しい生活様式での青少年活動の再開

私たちは、新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底して行い、新しい生活様式に沿ってプログラムを構築した上で、青少年の健全な心身の成長を重要と捉え、長い歴史の中で培った知識と経験の中で次の活動を再開します。



- ・青少年の自然体験活動
空や木々の鮮やかさ、清流の冷たさ、風の音や鳥のさえずり、ファイヤーの煙

のにおい、共に作ったカレーの味。五感で感じる生の体験は決してオンラインでは得られません。自然体験活動で育まれる友情、協調性、相互理解、信頼や尊敬心、興味や関心、他者や環境への思いやりの心は、子どもたちの健全な成長には必要不可欠であり普遍的です。 (一部抜粋)

日本 YMCA 同盟より転載：

<https://www.ymcajapan.org/topics/20200604-2/>

新型コロナウイルスへの対応について

【宇都宮】

英語→6/8 (月) レッスンがスタートした。

ウエルネス→6/1 (月) レッスンがスタートした。

野外→6/6 (土) 野外クラブがスタートし、宇都宮市冒険活動センター・平成記念こどものもり公園で活動を行った。

【宇都宮東】

英語→6/8 (月) レッスンがスタートした。

【足利】

6月より普段通りの学童に戻った。4年生以上の利用者が減ってきた。

【那須 (西那須野幼稚園関連)】

サタデークラブは、5/23 (土) より再開した。

体育クラス、英語クラスは再開した。

【さくらんぼ幼稚園】

6/1 (月) より全体で通常保育を再開した。334名在籍の92%が登園した。

【ようとう保育園】(6/8) 100名登園

【トライ東】(6/8)

5/18 (月) ~全館再開した。

英会話セミナー、美文字セミナー、ドッジボールがスタートした。土曜日、日曜日の若者の利用者が増えている。

【マイホームきよはら】

リモート面会、窓越し面会を実施しています。

引き続き入館を(禁止・制限)しています。

とちぎ Y 野外クラブの報告 (小学生)

宇都宮市冒険活動センターにてネイチャービンゴ・自然探索を行いました。吊り橋やゆうきの洞窟、〇〇の葉っぱや生き物を探す等グループで協力しながら自然の中でたくさん歩き回りました。

《さくらんぼ便り》

6/11 内科検診

園内科医の寺本チエ先生が診察に来てくださいまし

た。4月の入園式が延期になり、登園自粛等で、6月から初めて幼稚園に来るようになった子どもたちは、まだ慣れていません。ドキドキしてしまう子も優しい笑顔のチエ先生の前では大丈夫でした。



肥満児について気になるデータです。昨年6月は3.6%の11人でしたが、今年6月は7.3%の20人になってしまいました。コロナ(ステイ

ホーム)の影響でしょうか?2021年6月の数値が更に増えないことを祈ります。

一方6月19日の埼玉新聞には、新型コロナの影響で、4割の子が1日1食、休校中に給食がないことが理由と考えられています。貧困支援団体の代表は「子どもらは痩せた」という格差が歴然と現れた3カ月と説明をしています。また学習面の格差や休み期間を取り戻すための詰め込み学習も問題のようです。

6/20 入園式

新型コロナウイルスの影響で延期になっていた2020年度第67回認定こども園さくらんぼ幼稚園入園式を行いました。年少100名4クラスを2クラスずつ2部に分けて行い、時間を短くし、人数も少なくなるよう制限させていただきました。今までのような入園式が初対面ではなく、6月1日から全園児の登園を始めることができましたので、少しでも園生活に慣れてきたこと、先生や友だちの顔と名前がわかる安心感がありました。すごく落ち着いた雰囲気の中、笑顔あふれる入園式となりました。神様感謝いたします。



《佐藤隆久メン川柳コーナー》

佐藤隆久メンが、栃木県シルバー大学の川柳クラブに在籍しています。

「クラスター 自己責任で 済まされず」